

コミュニケーション英語Ⅰ 学習指導案

茨城県立結城第二高等学校 教諭 須堯 侑子

1 学 級 定時制 普通科 第2学年*組 *クラス(*名)

2 単 元 Lesson 7 Flying Wheelchairs / COMET English communication I (数研出版)

3 目 標

- 積極的にコミュニケーションを取ろうとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 学習した表現を使って本文の内容を伝えることができる。(外国語表現の能力)
- 英文を読んだり聞いたりして、だいたいの内容を読み取ることができる。(外国語理解の能力)
- 「空飛ぶ車いす」の活動内容や高校生の役割を理解している。(言語や文化についての知識・理解)
- 現在完了(have + p.p.)や気持ちを伝える表現(I'm glad ~)の使い方を理解している。(言語や文化についての知識・理解)

4 単元について

(1) 教材観

同世代の工業高校生が「空飛ぶ車いす」の活動に参加していることを知ることで、生徒たち自身が困っている人のためにできることを考えるきっかけとなる。また、普段何気なく捨ててしまっているものでも、少し手を加えれば誰かの役に立つものであることを知り、物の大切さに気づかせることができる。

(2) 生徒の実態

本校はボランティア活動が盛んで、多くの生徒が朝夕の清掃ボランティアや特別支援学校との交流会に参加している。そのため、ボランティアは生徒にとって比較的身近なテーマである。また、外国籍を有する生徒が多いため、生徒は日本と外国の文化や生活習慣の違いを直に感じている。同じアジアの国々の生活実態の違いを知り、異文化理解を深めたい。また、外国語学習が苦手な生徒が多く、文法事項の理解がなかなか深まらない。しかし、積極的に活動に取り組む生徒が多いため、活動を通して文法事項の定着を図りたいと考えている。

(3) 指導観

学習した表現を実際の会話で使えるようにするために、warm up や activity を通して output の機会を多く取り入れる。その際、input の機会も多くし、input と output が効果的に結びつくようにする。また、TPRS(Teaching Proficiency through Reading and Storytelling)を授業の中に取り入れ、本文の内容理解を深めるとともに、生徒が自分の言葉で説明できるように指導したい。

5 指導と評価の計画 (8時間扱い)

次	時	学習活動	関	表	理	知	評価規準 (評価方法)
1	毎時	・ペアで会話練習をする。	○			○	・文法事項を理解し、相手と会話できる。(パフォーマンス)
	1	・warm up を通して、ボランティア活動について知る。 ・Lesson 7-1 の新出単語の意味や使い方を知る。				○	・新出単語の意味や使い方を理解し、正しく発音できる。(観察)
	2	・Lesson 7 の概要を聞き、理解する。 ・絵を見ながら Lesson 7-1 の本文を聞き、内容を聞き取る。 ・本文を音読し、内容を理解する。 ・Key phrase を理解し、それをを用いて、友達に質問をする。また、友達の質問に答える。		◎		○	・与えられた語彙から正しく現在完了の文を書くことができる。また、相手と会話できる。(ワークシート・観察)

3	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見ながら Lesson 7-1 の本文を聞き、内容を確認する。 本文を音読し、内容を理解する。 絵を用いて本文の内容を説明する。 Key phrase を理解し、それを用いた英文を協力して書き取る。 					<ul style="list-style-type: none"> 絵を見ながら、本文の内容を理解できる。 英文を読むことができる。 ヒントを使いながら本文の内容を説明することができる。 聞き取った英文を書くことができる。 "on the other hand"の意味を理解し、それを使って文を組み立てることができる。(ワークシート)
	4 本時	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見ながら Lesson 7-1 の本文を聞き、内容を確認する。 本文を音読し、理解を深める。 絵を使って本文の内容を説明する。 	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> 積極的に相手とコミュニケーションを取ろうとする。 絵を用いて本文の内容を説明することができる。(パフォーマンス)
2	5	<ul style="list-style-type: none"> Lesson 7-2 の新出単語の意味や使い方を知る。 絵を見ながら Lesson 7-2 の本文を聞き、内容を聞き取る。 本文を音読し、内容を理解する。 Key phrase を理解し、それを用いた英文を作り、会話をする。 				<ul style="list-style-type: none"> 新出単語の意味や使い方を理解し、正しく発音できる。 英文を聞き、だいたいの内容を理解できる。 英文を読むことができる。 I'm glad～の意味を理解しそれを使って会話をすることができる。(パフォーマンス)
	6 7	<ul style="list-style-type: none"> 絵を用いながら Lesson 7-2 の本文を聞き、内容を確認する。 本文を音読し、内容を理解する。 絵を用いて本文の内容を説明する。 	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> 積極的に相手とコミュニケーションを取ろうとする。 絵を用いて本文の内容を説明することができる。
	8	<ul style="list-style-type: none"> 文法事項を確認する。 文法事項を用いた活動をする。 			○	○

6 本時の学習

(1) 目標

- 積極的に相手とコミュニケーションを取ろうとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 絵を用いて本文の内容を説明することができる。(外国語表現の能力)

(2) 展開

	学習活動及び内容	時間	指導上の留意点 ◎評価(評価方法)
導入	<ul style="list-style-type: none"> 出席確認、本時の説明 Conversation practice dialog を使ってペアで会話練習をする。 (1) ワークシートを見ながら3分間でできるだけ多くの人と会話をする。 (2) 何人と会話できたかを報告する。 	3分 3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の内容を板書する。 dialog にはこの単元で学習する文法事項や key phrase を入れる。(L7-①: 現在完了, L7-②: I'm glad ~) dialog は生徒の身近な場面を設定する。 dialog の中に生徒が選択できるものを入れる。 活動中は時間を計り、残り時間を知らせる。 教師は様子を見ながら、英語が読めない生徒や相手を見つけれない生徒の指導をする。 ワークシートをなるべく見ないで相手と会話するように指示をする。 ○dialog を使って積極的にコミュニケーションをとることができる。(観察) ※パフォーマンステストを後日実施

<p>展 開</p>	<p>・ Review Lesson 7 ー① New words flash cards を使って新出単語の意味や使い方を復習する。 (1) 日本語を見て、英語に直す。 (2) 全体で発音練習をする。 (3) 英単語と関連した教師の質問を聞いて答える。 (4) その単語を使った例文の発音練習をする。</p> <p>・ 本文の確認 Comprehension 絵を見ながら本文の内容を復習する。 (1) 紙芝居のように絵を見ながら英語で内容の説明を聞く。 (2) 絵を見ながら英文を言う練習をする。 (3) 内容に関する質問を聞いて、英語で答える。 質問例) Where are a lot of wheelchairs scrapped? Are wheelchairs expensive in some Asian countries?</p> <p>・ 音読練習 ワークシート (Lesson 7 ①) を見て、英文を確認しながら読む。 (1) Chorus reading (チャンクごと) (2) 全員で一斉に本文を読む。</p> <p>・ Story retelling (pair work) Story retelling worksheet を見ながら本文の内容を英語で説明する。 (1) ペアに分かれる。 (2) パートナーに英語で絵 (Story retelling worksheet) を説明する練習をする。必要なら、自分の使いたいヒントシートを選び、活用して取り組む。 (3) 練習後教師の評価を受ける。</p>	<p>7分</p> <p>10分</p> <p>5分</p> <p>14分</p> <p>3分</p>	<p>・ flash cards はアクセントを置く文字のところを赤い色に変えておく。 ・ 発音をする時の注意点を示す。 ・ 全体での発音練習の後、読み方が分からない生徒を指名し、発音練習をする。 ・ 文中における単語の使い方を教えるため、その単語に関連した質問をし、その答えを受けて、単語や表現を用いた英文を作り、生徒にリピートさせる。 ・ 質問は分かりやすく、簡単なものにする。</p> <p>・ 絵を見て説明できるようにするため、1文につき1枚絵を用意する。 ・ 絵は黒板掲示用 (A3) と生徒用 (Story retelling worksheet) を用意する。 ・ 絵を見ながら英文を言う練習をさせ、分からないときはワークシートを見てもよいと指示をする。 ・ 内容に関する質問をあらかじめ10問程度用意しておく。 ・ 答えにつまってしまった場合や日本語で答えた場合はヒントを出し、英語で答えるように促す。</p> <p>・ 英文を見ながら英文と日本語訳を確認させる。 ・ 生徒がきちんと英文を読めているか確認しながら読む。 ・ 発音に自信が持てずになかなか声を出せない生徒も声が出せるように、一斉に読む機会を作る。その際、教師も同時に読む。 ・ 教科書の本文を覚えるのではなく、絵を英語で説明することに重点を置くように伝える。 ・ 相手に絵を見せながら説明するように指示する。 ・ つまづいている生徒には、ヒントシートを見ながら取り組むように促す。 ・ ヒントシートは Hint 1 (単語や表現を空欄にしたもの) と Hint 2 (文の始めと終わりのみ書いてあるもの) の2種類を用意し、生徒の能力に応じて選択できるようにする。 ・ ヒントシートを見ても分からない場合は、聞き手がヒントを与えてもよいことを伝える。 ・ 1～2回練習をした頃を見計らって、各ペアを回り、活動の評価をする。 ◎絵を用いて本文の内容を説明できる。 ◎積極的に相手とコミュニケーションを取ろうとする。(観察、パフォーマンス) ※評価規準を前もって生徒に知らせておく。</p> <p>・ 評価をさらに上げたい場合は、練習し、個別にテストを受ければ評価が上がることを伝える。</p>
<p>ま と め</p>	<p>・ 本時のまとめ、次回の連絡</p>	<p>3分</p>	<p>・ 評価をさらに上げたい場合は、練習し、個別にテストを受ければ評価が上がることを伝える。</p>

Conversation Practice ①

A: Have you ever ~した ? 「今までに~したことがありますか?」

生徒に言いたいこと
を選ばせる。

watched ~ / heard ~ / eaten ~

B: Yes, I have ~した that (once / twice / three times / many times).

It was 感想 .

No, I have never ~した that.





That sounds 感想 .

	fantastic / great
	good
	not so bad
	so-so
	not good
	bad

質問に対する答え
を段階的に提示し、
選ばせる。

--	--	--	--	--

評価規準

-  何も見ないで自分の文で会話できる
-  何度か例文を見て会話できる
-  例文を読みながら会話できる
-  なんとか例文を読むことができる

日付を記入
(練習した回数を知る)

やり方

- ①読み方や意味を確認する。(最初の時間のみ)
- ②音読練習 (全体)
- ③ペアで練習
 - ※その際、「□人と会話する」や「△分以内でできるだけ多くの人と会話する」などの指示をする。
- ④最後に教員が相手となり、会話のテストをする。

※学習する文法事項や表現を使って dialog を作成する。
 ※評価基準はあらかじめ生徒に伝えておく。

Hint sheet

Name: _____

◆ Tell the story to your partner



Hint 1

ヒントシートは2種類（単語や表現を抜いたものと文の始めと終わりが書かれているもの）。生徒は能力に応じて選択する。

① Have you ever _____ of the "Flying _____" project?

② In Japan, _____ wheelchairs are _____ every year.

③ _____, people in some Asian countries cannot buy them.





単語か連語か、
入るもので表記を変える。

④ They are too _____.

⑤ One Japanese volunteer group offers _____ wheelchairs to those people.

⑥ The wheelchairs are sent _____, so they really "fly"!

生徒に分かりやすいように
評価規準を提示する。

-  何も見ないで絵を使って説明できる
-  何度かヒントを見て絵を説明できる
-  ヒントを見ながら絵を説明できる
-  ヒントの文を読むことができる

Hint 2

① Have _____ the "Flying Wheelchairs" project?

② In Japan, _____ every year.

③ On the _____, _____ people in some _____ them.

④ They _____.

⑤ One Japanese volunteer group _____ to those people.

⑥ The wheelchairs are _____, so they _____!



何も見ないで絵を使って説明できる



何度かヒントを見て絵を説明できる



ヒントを見ながら絵を説明できる



ヒントの文を読むことができる

Story retelling worksheet

黒板掲示用に①～⑥を1枚ずつ、
A3版で印刷する。

<p>①</p> <p>こんなボランティアがあります。</p> <p>"Flying Wheelchairs"</p>	<p>②</p>
<p>③</p>	<p>④</p>
<p>⑤</p>	<p>⑥</p>

評価を書き込める欄を作成。

